秦野市　議会議員　　大野　祐司

2025年2月の活動トピックス

桜の植樹について

　秦野市は、神奈川県下最長の並木等各所に桜の名所があるが、老朽化が顕在化していることから、桜の木の植え替え事業を展開しています。これにより将来に亘って、桜を愛でることができるよう、取り組んでいます。

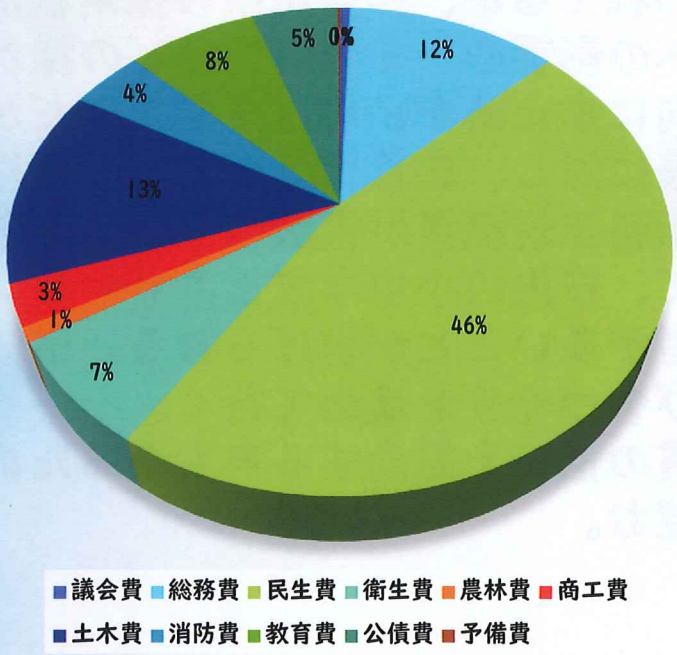
秦野市議会議員　大野祐司の

まほろば通信

令和７年４月吉日
発行NO　５８号
発行　大野祐司後援会
発行人　新城　和也
電話 0463-21-8127

令和7年度予算について（概要）

令和7年度一般会計予算（640億7千万円）



市長の施政方針によれば、令和7年度当初予算は、「まちの活力創出に向けた投資の時期と捉え、積極果敢に事業展開をしていくため、ふるさと秦野の輝く未来に向けて挑み続ける予算」として編成した。とのことです。

主な新規事業
※休日夜間急患診療所の建替えに向けた基礎調査の実施
※1か月児の健康診断の実施
※結婚支援事業
※秦野駅北口ペデストリアンデッキのカラーＬＥＤ化
※秦野丹沢野外彫刻展の開催
※はだの丹沢ライフ応援事業のリニューアルなど

大野議員の一般質問内容（概要）

１　令和６年１２月期人事評価の結果について

問　令和５年の「秦野市職員の期末手当及び勤勉手当の支給に関する規則改正に伴い、「人事評価の運送について」改定を行っているが、令和６年１２月期人事評価の結果の課題や対応はどの様か。

答　人事評価の平均点は、１０５点満点中６６．４点で、勤勉手当が加算される７０点以上の職員は１５．４％、減算される５９点以下の者は２．１％であった。一部の評価に偏りがあったため、部局内での共有や、グループワーク等を実施した。

２　教員採用試験の倍率低下の影響について

問　試験の倍率の低下が言われてるが、神奈川県の採用状況はどの様か、また本市の学校現場への影響や、その対応はどの様か。

答　神奈川県では、減少傾向に歯止めがかかってきた様だが、中学校技術科では、３０名の募集に対し、応募は２０名で、合格者は９名であった。本市では、技術科正規職員が複数の学校を兼務している。また、本市の特徴として、市内の小中学校出身者が多いこと本市と関係が深い大学の出身者が多いことが挙げられる。引続き大学との連携強化や魅力ある学び舎づくりを進めて行く。

要望　倍率低下で、教員の質の低下を懸念する声もあるため、一層の働き方改革・処遇改善を望む。

市政に関する、お問い合わせ・ご相談は

大野 祐司 後援会

TEL　21-8127
FAX　23-6437
Eメール　ANB50976@nifty.com